

# 霧が丘地区

霧が丘地区別計画推進委員会

## 地域 霧が丘1～6丁目

区の西方に位置し、南側は旭区に接している。昭和54年に日本住宅公団（現在の霧が丘グリーンタウン）の1次入居が始まり、昭和56年に十日市場町から区域変更された比較的新しい街。計画的に整備されていることが特徴的。緑豊かな公園が点在し、恵まれた自然環境は南側に隣接する新治市民の森に続く。住民の活動の場所として平成20年に横浜市初の小学校跡の建物利用として複合施設「霧の里」がオープンした。

### <主な関連施設>

最寄駅：十日市場駅（JR横浜線）

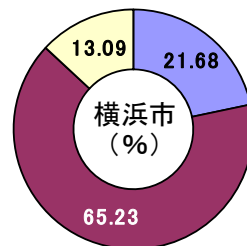
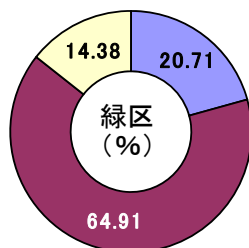
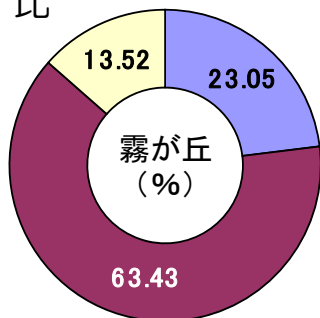
震災時避難場所（地域防災拠点）：霧が丘小学校（旧霧が丘第二小学校）、旧霧が丘第三小学校

地域ケアプラザ等：横浜市霧が丘地域ケアプラザ

### <年齢区分別人口>

平成25年(2013年)9月末

人口比



|        |         |
|--------|---------|
| 75歳～   | 884人    |
| 65～74歳 | 1,830人  |
| 15～64歳 | 7,469人  |
| 6～14歳  | 1,060人  |
| 0～5歳   | 532人    |
| 合計     | 11,775人 |

|        |          |
|--------|----------|
| 75歳～   | 16,136人  |
| 65～74歳 | 20,748人  |
| 15～64歳 | 115,600人 |
| 6～14歳  | 15,912人  |
| 0～5歳   | 9,693人   |
| 合計     | 178,089人 |

|        |            |
|--------|------------|
| 75歳～   | 367,822人   |
| 65～74歳 | 437,068人   |
| 15～64歳 | 2,421,736人 |
| 6～14歳  | 296,135人   |
| 0～5歳   | 190,048人   |
| 合計     | 3,712,809人 |

### 地区別計画推進委員会の開催状況

#### 第1回

平成25年6月29日

16:00～17:30

霧が丘コミュニティハウス

- 推進状況報告
- 計画推進に向けた意見交換

通信No.5発行

#### 第2回

平成25年12月21日

17:00～18:30

霧が丘コミュニティハウス

- 計画推進に向けた意見交換
- 各種活動に関する情報提供

通信No.6発行

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成25年度地区別計画推進状況



# 霧が丘地区



**防犯・防災・教育** **日本一**  
の街を目指して活動しています。

## ★ 防災・防犯



(写真)「霧が丘大運動会」の様子

防災拠点にて、宿泊訓練などの2日間の防災訓練を毎年2回行っています。訓練では本物の消火器を使って油に入った火を消火するなど、器具の取扱いの習熟にも努めています。防災訓練以外でも、「霧が丘大運動会」の競技として「タイムトライアルでの消火訓練」や「飲料水タンクの満水運搬競争」をするなど、地域をあげて取り組んでいます。

## ★ 健康づくり活動

保健活動推進員が中心となり、「霧の里」で毎月「健康チェック」を実施しています。また、防災訓練等の機会を活用した「健康チェック」や、福祉落語（6月）、AED講習会（9月）を行うなど、健康づくり活動が盛んに行われています。



(写真)「AED講習会」の様子

**霧が丘地区のこれから**

**様々な取り組みをこれからも継続し、再構築を行いながらより良いものに発展させていきます。**

霧が丘地区別計画推進委員会





霧が丘地区別計画推進委員会  
平成25年7月27日発行 第5号

## 霧が丘地区別計画推進委員会通信

# 平成25年度第1回霧が丘地区別計画推進委員会を開催しました！



(写真) 平成25年度第1回霧が丘地区別計画推進委員会 霧の里にて

平成25年6月29日(土) 16時から霧の里で、「平成25年度第1回みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画推進委員会」を開催し、計画の推進に向けた意見交換を行いました。

実際に取り組みを推進していく立場の委員の皆さまから、現状の活動状況についての情報提供や、今後に向けた課題提起など、様々な発言がありました。



### 委員会での意見交換の内容（主な意見）

#### 【計画全体の推進について】

- ・霧が丘では地域活動を活発にやっており、横浜市内でも一番盛んな地域だと感じます。今後も、現在の活動を地道に継続していきたいと思います。
- ・単位自治会ごとに活動に温度差がありますが、連合自治会が霧が丘全体をひっぱってくれていると思います。よその街に行った時それが良く分かります。
- ・この計画は平成23年から急に始まったものではないと思います。これまで霧が丘で行われていた活動を計画という形でまとめたものだと思っています。
- ・計画の目標は大変良いものだと思います。課題についても、次世代の育成など大変重要なことが載っていると思います。
- ・今ある課題の解決に向け、地道に活動を進めていくことが大事だと思います。霧が丘は、防犯、防災、教育などの活動の土台が既にあるので、それを発展させていくことが大事だと思います。
- ・計画そのものは良くできていると思いますが、どこまで実行し、完成できるかが課題だと思います。何が出来たのかを話し合っって小さなことでも一つ一つ実行する姿勢が必要だと思います。

## 委員会での意見交換の内容（主な意見）【続き】

## 【地域のつながり作り】

- ・三大多事である「祭り」、「運動会」、「どんと焼き」位しか一般の人が来ないと思います。新しく人材を発掘していくためには行事や活動の周知が必要です。これを優先的にやらないと、計画の他の項目もうまく回っていかなくなると思います。
- ・計画の中で一番大事なのは「つながり」の部分だと思います。現在活動している人の方から動いて、出てこない人の言い分も聞いていくのが大事だと思います。
- ・いい計画だと思いますが、膨大な計画でありこれが全部できるか疑問です。「つながり」の項目をまず自分で何ができるかを考えていきたいと思います。

## 【活動の担い手確保】

- ・活動メンバーも毎年1歳づつ年を取っていきます。昔は元気にできていましたが、それをどう今後、維持していくのか課題だと思います。
- ・高齢化でメンバーが集まらず、活動に手がまわらなくなってきています。活動の内容によって優先順位をつけていくことが必要だと思います。
- ・自治会で住民交流会をやっていますが1、2年では成果はできません。いままで活動に参加していない人を引っ張りだしていくのは難しいと感じます。
- ・学校の保護者にもっと地域に目を向けてもらうことが大事だと思います。子どもが学校を卒業するとPTA活動も卒業となりますが、その後をどう地域に繋げていけるかが課題だと考えます。
- ・現在活動している人が、きらっと光る次の世代の人材を見つけておくのが重要です。いろいろな行事の時に、応援を頼んだり、40～50代の人を行事に参加してもらうことが必要だと思います。



今後も、各活動の実施主体で引き続き本計画に関わる取り組みを継続・発展させ、「防犯・防災・教育日本一のまち」を目指して活動していきます。

## 「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」とは

「みどりのわささえ愛プラン」（第2期計画：平成23年度～27年度）は誰もが安心して暮らし続けられる緑区を目指して策定された、社会福祉法に基づく計画です。本プランは「区計画」と、区内11地区の実情を踏まえて策定された「地区別計画」から構成されます。「霧が丘地区別計画」では、現在行われている取り組みについて、継続・発展させていくこととしています。

- ・現在行われている取り組みを継続し、必要に応じて見直しを含めた再構築を行い、よりよいものに発展させていく。
- ・広報「霧が丘」、「防犯・防災・環境ニュース」の発行等による情報発信を行い、地域の方々に霧が丘で行われている活動について周知するとともに、参加者や担い手の増加につなげていく。
- ・「みどりのわ・ささえ愛プラン」の周知を行い、プランと霧が丘の取組の関係について、情報を発信していく。

## 霧が丘地区別計画推進委員会とは

連合自治会の役員、民生委員・児童委員、保健活動推進員などの23人のメンバーで構成されています。

「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」の推進に向け、地域の取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討等をおこなっていくための委員会です。



〈連絡先〉霧が丘地区別計画推進委員会事務局 Tel：930-2307（緑区高齢・障害支援課長 杉本）





霧が丘地区別計画推進委員会  
平成26年1月26日発行 第6号

## 霧が丘地区別計画推進委員会通信

# 平成25年度第2回霧が丘地区別計画推進委員会を開催しました！



(写真) 平成25年度第2回霧が丘地区別計画推進委員会 霧の里にて

平成25年12月21日(土) 17時から霧の里で、「平成25年度第2回みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画推進委員会」を開催し、計画の推進に向けた意見交換を行いました。

実際に取り組みを推進していく立場の委員の皆さまから、現状の活動状況についての情報提供や、今後に向けた課題提起など、様々な発言がありました。



## 委員会での意見交換の内容(主な意見)

### 基本目標1

#### 地域での「つながり」を大切にするまちづくり

- ・今年度は、盆踊り大会や大運動会などを既に実施しました。年明けには、どんど焼きや新春歩こう会などの企画についても実施していく予定です。
- ・霧の里で実施した「ゆうゆう霧が丘」については、天候にも恵まれ、約600人と、大変多くの方に参加いただきました。
- ・高齢者の配食サービスについては連合自治会と地区社会福祉協議会の共催で実施しています。民生委員やボランティアの人達を中心に運営しています。

### 基本目標2

#### 「一人ひとりの力」が発揮できるまちづくり

- ・今年度は認知症サポーター養成講座をケアプラザ等で開催し、約150人が新たにサポーター登録しました。支援者の役割を担うキャラバンメイト(認知症理解の普及ボランティア)も少しずつ増えています。高齢者が少しずつ増えていくなかで、支援者の確保は重要であり、養成のための講座もおこなってほしいです。
- ・ボランティア相談室は、「ミモザ霧が丘」を拠点とし、地区のボランティアを利用したい人、担い手双方をつなぐ役割を果たしています。活動の周知がもっと必要だと思います。

裏面に続きます！

## 基本目標3

## みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり

- ・「花いっぱい活動」については、緑区にも支援してもらって毎年行っています。水やりや枯れた花の間引きなどのメンテナンスを誰が担っていくのが課題だと思います。
- ・ケアプラザでのコーラスサロンは6年目を迎え順調に活動できています。今年度、新たに実施したアコーディオン伴奏による「うたごえサロン」は大勢の方が参加し、賑わっています。
- ・自宅で介護を担っている家族の方たちの悩みの共有や情報交換の場として、介護者の集いを定期的に実施しています。

## 基本目標4

## 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり

- ・各種事業のチラシがたくさんあっても、受け手に全ての情報がきちんと情報が伝わっていないと感じます。回覧しても綺麗なまま戻ってくるのが現状です。周知の方法については今後の課題だと思います。

## 基本目標5

## 「安心・安全・健康」のまちづくり

- ・防災については年2回（夏・冬）防災訓練を実施しました。夏の訓練については100人以上の多くの方が参加しました。今後は消火箱の設置も予定しているので、是非多くの人に来てもらいたいと思います。
- ・霧の里での「健康チェック」も毎回30人位の方が参加しています。区内でも継続的に取り組んでいるのは霧が丘だけだと思います。より多くの人に参加してもらいたいと思います。



今後も、各活動の実施主体で引き続き本計画に関わる取り組みを継続・発展させ、霧が丘から「住みやすさ一番緑区」を目指して活動の輪を広げていきます。

## 「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」とは

「みどりのわささえ愛プラン」（第2期計画：平成23年度～27年度）は誰もが安心して暮らし続けられる緑区を目指して策定された、社会福祉法に基づく計画です。本プランは「区計画」と、区内11地区の実情を踏まえて策定された「地区別計画」から構成されます。「霧が丘地区別計画」では、現在行われている取り組みについて、高齢者支援を中心に、継続・発展させていくこととしています。

- ・現在行われている取り組みを継続し、必要に応じて見直しを含めた再構築を行い、よりよいものに発展させていく。
- ・広報「霧が丘」、「防犯・防災・環境ニュース」の発行等による情報発信を行い、地域の方々に霧が丘で行われている活動について周知するとともに、参加者や担い手の増加につなげていく。
- ・「みどりのわ・ささえ愛プラン」の周知を行い、プランと霧が丘の取組の関係について、情報を発信していく。

## 霧が丘地区別計画推進委員会とは

連合自治会の役員、民生委員・児童委員、保健活動推進員などの23人のメンバーで構成されています。

「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」の推進に向け、地域の取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討等をおこなっていくための委員会です。



〈連絡先〉 霧が丘地区別計画推進委員会事務局 TEL：930-2307（緑区高齢・障害支援課長 杉本）